

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586001301	科目番号 / Subject code	05860013
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11711_005		
授業科目名 / Subject	ヒトの生物学とストレス (ヒトの生物学) / Life Science of Humans and Living Organisms		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	根本 孝幸 / Nemoto Takayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	根本 孝幸 / Nemoto Takayuki, 門脇 知子 / Kadowaki Tomoko, 藤山 理恵 / Fujiyama Rie		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tnemoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してくだ さい)		
担当教員研究室/Laboratory	医歯薬学総合研究科 (歯学系) 口腔分子生化学講座		
担当教員TEL/Tel	根本孝幸, 藤山理恵, 門脇知子		
担当教員オフィスアワー/Office hours	根本孝幸/tnemoto@nagasaki-u.ac.jp/医歯薬学総合研究科 (歯学系) 歯学部基礎研究棟 A棟2F/095-819-7640/17:00?19:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	生命現象を担う基本分子であるタンパク質や遺伝子の構造とその働きを理解しよう。これらの生体分子の活動の場である細胞の構造と機能を学ぼう。さらに、これらが統合された形でどのように生命活動 (味覚、免疫など) を営むかを理解しよう。種々のテーマに関するグループ学習を通してみずから進んで学ぶスタイルを身につけよう。 本授業により生命としてのヒトを理解するための基礎知識とactive learningを身につけることが本科目のねらいである。		
授業到達目標/Goal	生体高分子の構造と機能を説明できる (???)。 細胞の活動を説明できる (???)。 味覚の仕組みを説明できる (???)。 免疫系の機能を説明できる (???)。 必要な科学情報を検索し、まとめることができる (???)。 科学情報を適切に提示して伝達することができる (???)。 提示された情報を理解した上で、その内容を討論できる (????)。		
授業方法 (学習指導法) /Method	生命科学に関する講義 (11回) と生命科学に関するテーマの自己学習およびその成果発表会 (4回)。 発表会について: いくつかの課題に対して、あらかじめ全班が発表要約を提出 (3回, LACS上)。その内容を教員が審査後、採択された班 (毎回4-5班) が発表を行う。4回の発表回があり、基本的には全班が発表する。ただしLACSに提出する事前要約内容により、複数回選ばれる班もある。 各発表回のための要約作成と発表班の準備の時間は授業時間中には取っていないので、図書館などで早めに班ミーティングを開き準備すること (LACS上に班単位の掲示版も作る予定)。テーマ、班分け等詳細は授業やLACSで順次発表する。		
授業内容/Class outline/Con	(授業以前LACS上) 課題1の公開 第1回 (10/5) 喫煙と発ガン (根本孝幸) 第2回 (10/5) 個体発生のメカニズム: クローン動物の誕生 (根本孝幸), 発表要約のLACS提出 (1) 第3回 (10/12) 生物の進化と遺伝 (根本孝幸) 第4回 (10/12) 遺伝子構造の解明 (根本孝幸), 課題2公開 第5回 (10/19) 発表会 (1), 発表要約のLACS提出 (2) 第6回 (10/19) 遺伝子からタンパク質へ (根本孝幸) 第7回 (10/26) びっくり、味覚体験! (藤山理恵) 第8回 (10/26) 味覚の基礎と臨床 (藤山理恵) 第9回 (11/2) 発表会 (2), 課題3&4公開 第10回 (11/2) 体の優れたシステム (心臓・循環、腎機能など) (藤山理恵), 発表要約のLACS提出 (3) 第11回 (11/9) 細胞のつくりと機能 (門脇知子) 第12回 (11/9) 免疫とは? 体内で活躍する防御機構? (門脇知子) 第13回 (11/16) 発表会 (3A) (門脇知子) 第14回 (11/16) 発表会 (3B) (門脇知子) 第15回 (11/30) 免疫の異常と病気? アレルギーからエイズまで? (門脇知子) 第16回 (11/30) 試験		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習のためにLACS上に練習問題 (pre-test) がある。授業前に一度解いておくこと。回答した場合、成績に加点する。なお、授業日前日までの回答だけが有効 (授業後はLACS上で回答不可能になる)。		
キーワード/Key word	遺伝子、タンパク質、細胞、発がん、個体発生、進化、味覚、細胞、免疫		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>第1回-第5回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Essential細胞生物学 (1?6章) 原書第4版 中村桂子、松原謙一監訳 南江堂 2014</li> <li>2. 進化のなぜを解明する J Aコイン著 日経BP社 2010</li> <li>3. 新形づくりの分子メカニズム 上野直人、野地澄晴著 羊土社 1999</li> </ol> <p>第7回-第9回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Essential細胞生物学 (15, 16, 20章) 原書第4版 中村桂子、松原謙一監訳 南江堂 2014</li> </ol>
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>個人： 期末試験 (60 点) ,LACS上のpretestの回答履歴 (5点まで)。          団体 (班)： 課題発表 (4回) に関して、要約提出 (10点×3回)。採用されて発表すると1回につき5-10点。発表会での質問 (1回 1点 各班の発表1つに対して2点まで) に加点。          詳しくは最初の講義で説明します。</p>
受講要件 (履修条件) /Requirements	講義は2/3以上の出席が必要。
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先          (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考 (URL) /Remarks(URL)	<p>LACS [H29 ヒトの生物学] を毎週チェックすること。授業資料の事前掲示、プレテストその他の情報をUPする。          授業日前日がPreテストの締め切り日であり、締め切り日以降は回答することができない。Pre-testの問題は試験にも出ることもある。</p>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>試験は配ったプリント、自分で作成したノート類は試験場に持ち込み可である。LACSにUPしてある過去問を解いておけばできるはずの試験である。授業に出席していれば試験もピンポイントでわかる。          発表要約をLACS上にUPする際、その場所に注意してほしい。全班が3回投稿するが、分類のため毎回別の場所になる予定です。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
10/19 (1校時)	第1回課題発表回、質疑応答
11/2 (1校時)	第2回課題発表回、質疑応答
11/16 (1校時)	第3回A 課題発表、質疑応答
11/16 (2校時)	第3回B 課題発表、質疑応答

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2017/09/29 ~ 2017/11/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586001701	科目番号 / Subject code	05860017
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11721_005		
授業科目名 / Subject	ヒトの生物学とストレス (歯の進化と人類学) / Dental Evolution and Physical Anthropology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	manabe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	医歯薬学総合研究科 顎顔面解剖学分野 (歯学部)		
担当教員TEL/Tel	095-819-7627		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月?火 16:30?18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	歯の進化、脊椎動物の進化を通して、人類に到る進化の過程を知り、人類進化の方向性を理解する。さらに、日本人の起源や人類学の研究法等についての知識を深める。		
授業到達目標/Goal	1. 歯からみた脊椎動物の進化の概略について説明ができる。 2. 哺乳類の歯の多様性について説明できる。 3. 霊長類の歯の特徴について説明できる。 4. 人類進化の概略について説明できる。 5. 現代人の起源と地球全体への拡散について説明できる。 6. 日本人の起源と形成過程について説明できる。 7. 骨とミイラの研究法について説明できる。 8. 身体変工の種類・方法・意味について説明できる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式と班単位での発表および実習形式で授業を行なう。プリントを配付する。スライド等を使用する。哺乳類各目における歯の特徴について班単位で発表する。複数の動物頭蓋骨標本の歯の形態を観察して、その動物種を鑑定する実習を行う。		
授業内容/Class outline/Con	第1回 人類学とは 脊椎動物における歯の進化 (1) 歯と進化、歯の基本的構造、歯の系統発生学 第2回 脊椎動物における歯の進化 (2?1) 硬組織の起源、歯の起源、脊椎動物の最初の硬組織 脊椎動物における歯の進化 (2?2) 脊椎動物の歯の進化 (無顎類 哺乳類) 概論 第3回 脊椎動物における歯の進化 (3) 脊椎動物の歯の進化 (無顎類 哺乳類) について発表と質疑応答 (班単位) 第4回 脊椎動物における歯の進化 (4) 哺乳類の適応放散 (食虫目・霊長目・食肉目・齧歯目・奇蹄目・・・・) (初期霊長類からヒト科へ) 概論 第5-6回 脊椎動物における歯の進化 (5) 哺乳類の適応放散 (食虫目・霊長目・食肉目・齧歯目・奇蹄目・・・・) (初期霊長類からヒト科へ) について発表と質疑応答 (班単位) 第7-8回 脊椎動物における歯の進化 (6) 骨格標本の歯に基づく動物種の鑑別実習 (班単位で議論) 第9回 生と死の人類学 (ヒトは死んだらどうなるか) エジプト、アンデス、?本のミイラ 第10回 風俗や習慣としての「身体変工」の種類、方法、意味 第11回 古代アンデスの人類学 第12回 人類進化概説・猿人から新人 (解剖学的現代人) まで 人類の拡散と人種 (地域的変異) の形成 第13回 日本人の起源 (旧石器時代) 第14回 日本人の起源 (縄文時代) 第15回 日本人の起源 (弥生時代以降)		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業中に配布した資料を基に復習すること。		
キーワード/Key word	歯の進化、脊椎動物の進化、人類の進化、人種、日本人の起源、人類学の研究法、生と死、ミイラ、身体変工		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリントを配布する。参考書は授業時に紹介する。複数の動物頭蓋骨標本を用いて、歯の形態を観察する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポートを課したり、小テストを実施して、評価を行う。また、発表や実習などへの積極的な参加、貢献度、および内容についても評価の対象とする。 【成績評価項目】プレゼンテーション (10%)、小テスト (10%)、鑑別実習 (10%)、授業参加度 (5%)、レポート (65%)		
受講要件 (履修条件) /Requirements	班単位での発表では、準備段階から発表、質疑応答までのあらゆることに全員が参加することを前提とする。 授業外学習に充てるべき時間 (週平均2時間以上)		

アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	連絡事項や資料の事前配布を行うことがあるので、LACSの確認は頻繁に行っておくこと。また、授業中に行う理解度確認小試験の解答入力に必要であるので、パソコンは必携とする。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	人類学とは 脊椎動物における歯の進化（1）歯と進化、歯の基本的構造、歯の系統発生学
第2回	脊椎動物における歯の進化（2?1）硬組織の起源、歯の起源、脊椎動物の最初の硬組織 脊椎動物における歯の進化（2?2）脊椎動物の歯の進化（無顎類 哺乳類）概論
第3回	脊椎動物における歯の進化（3）脊椎動物の歯の進化（無顎類 哺乳類）について発表と質疑応答（班単位）
第4回	脊椎動物における歯の進化（4）哺乳類の適応放散（食虫目・霊長目・食肉目・齧歯目・奇蹄目・・・・）（初期霊長類からヒト科へ）概論
第5回	脊椎動物における歯の進化（5?6）哺乳類の適応放散（食虫目・霊長目・食肉目・齧歯目・奇蹄目・・・・）（初期霊長類からヒト科へ）について発表と質疑応答（班単位）
第6回	脊椎動物における歯の進化（5?6）哺乳類の適応放散（食虫目・霊長目・食肉目・齧歯目・奇蹄目・・・・）（初期霊長類からヒト科へ）について発表と質疑応答（班単位）
第7回	脊椎動物における歯の進化（7?8）骨格標本の歯に基づく動物種の鑑別実習（班単位で議論）と解説
第8回	脊椎動物における歯の進化（7?8）骨格標本の歯に基づく動物種の鑑別実習（班単位で議論）と解説
第9回	生と死の人類学（ヒトは死んだらどうなるか） エジプト、アンデス、日本のミイラ（特別講師：加藤 克知 先生）
第10回	風俗や習慣としての「身体変工」の種類、方法、意味（特別講師：加藤 克知 先生）
第11回	古代アンデスの人類学（特別講師：加藤 克知 先生）
第12回	人類進化概説・猿人から新人（解剖学的現代人）まで 人類の拡散と人種（地域的変異）の形成（特別講師：加藤 克知 先生）
第13回	日本人の起源（1）旧石器時代
第14回	日本人の起源（2）縄文時代
第15回	日本人の起源（3）弥生時代以降

学期 / Semester	2017年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2017/11/28 ~ 2018/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20170586002101	科目番号 / Subject code	05860021
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 11731_005		
授業科目名 / Subject	ヒトの生物学とストレス (ストレスと健康) / Stress and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筑波 隆幸 / Tukuba Takayuki, 中山 浩次 / Nakayama Kouji, 内藤 真理子 / Naito Mariko, 真鍋 義孝 / Manabe Yoshitaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筑波 隆幸 / Tukuba Takayuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筑波 隆幸 / Tukuba Takayuki, 中山 浩次 / Nakayama Kouji, 内藤 真理子 / Naito Mariko		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1?2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tsuta nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Laboratory	歯学部A棟 5階歯科薬理学分野教授室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7652 (内7652)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17:00?18:00		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ストレスと健康について ストレスの原因から5分類できる。1. 物理的ストレス (寒冷、騒音、放射線など) 2. 化学的ス トレス (酸素、薬物など) 3. 生物的ストレス (炎症、感染など) 4. 心理的ストレス (怒り、不安など) 5. 社会的ストレス (人間関係、環境など) さらに詳細なストレスと健康と の関係について講義する。		
授業到達目標/Goal	1. 生体とストレスとの関係を理解する。 2. 生体とストレスとの関係を調べる。 3. 生体とストレスとの関係を発表できる		
授業方法 (学習指導法) / Method			
授業内容/Class outline/Con			
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	ストレス		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特になし		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	テストで60点以上を合格点とします。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	講義は2/3以上の出席が必要。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	液晶プロジェクターおよび板書を中心とした講義を行う。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
	.		